

科目		訓練学 I	
担当講師 中嶋友美 実務経験有 警察犬訓練士 横手愛犬トレーニング代表			
開講年次	授業形態	選択/必修	授業時間
動物看護、動物管理学科 1年次前後期	講義	必修	30
授業目標 犬の本能・行動終生についての基本的なことを理解し、テーマごとにトレーニング技術を修得する。 授業概要 犬の行動様式を学び、トレーニングの開始時期、家庭犬のトレーニング、競技会の科目の内容まで学ぶ。			
成績評価の方法  評価の基準は実習レポート及び実技試験と筆記試験による。また本科目受験には出席率が3分の2以上であることが必要。試験は80～100点がA評価、70～79がB評価、60～69までをC評価とし、60点未満は再試とする。再試においては80点以上を合格とし評価はCとなる。			
教材 ドッグトレーニング（インターズー）			
授業計画 毎週水曜日 2限目 10:50～12:20（A班、B班）			
回	授業内容		
1	トレーニングの時期	A ボールなどで集中力をつける	
2	〃	B 〃	
3	「停座」	A リードの持ち方・カラーの位置	
4	〃	B 〃	
5	リーダーウォーク	A 効果的なほめ方、指示をするタイミング	
6	〃	B 〃	
7	脚側行進	A 常歩 犬との接し方	
8	〃	B 〃	
9	脚側行進	A 常歩・緩歩・速歩	
10	〃	B 〃	
11	脚側行進	A トレーニングを楽しむ	
12	〃	B 〃	
13	「伏臥」	A 人が主導的行動をとる	
14	〃	B 〃	
15	「立止」	A 犬の本能・習性を理解する	
16	〃	B 〃	
17	「停座」及び「招呼」	A マテ・コイ・アトエがすべて含まれた科目	
18	〃	B 〃	
19	「伏臥」及び「招呼」	A フセ・コイ・アトエ訓練の進み具合が現れる科目	
20	〃	B 〃	
21	「持来」	A ダンベルを使い犬に持つことを教える	
22	〃	B 〃	

23	「強制持来」	A ダンベルを持って来たことをほめる
24	〃	B 〃
25	「休止」	A 長時間犬を待たせる
26	〃	B 〃
27	訓練競技会の科目	A 各科目の説明
28	〃	B 〃